



リード氏ヲ論ス

千八百七十九年一月十六日刊行
ガゼット新聞抄譯

414
A 942

4165





單行獨力、人ニシテ日本條約、改正ヲ主
宰セントスル人ヲ論ス

英國下院ノ議院眞タル「イリゾ」氏ノ日
本ニ來遊シテ其優待セラル、所以ノ目的ニ付
日、新聞記者ハ本月十四日、紙上ニ一篇ノ論
説ヲ記セリ吾曹之ヲ翻譯シテ讀者ノ参考ニ供
セシメシ、蓋シ該記者ノ説ケル所ノ理由ハ外人
ヲシテ愈々其惑ヲ深カラシムルニ外ナラス何
トナレハ英國ニ於テ總ニ政術家タル、一箇人
ニシテ日本政府ノ之ヲ待遇スルニ上賓ノ禮ヲ
以テスルモノハ抑々何等ノ真意ナル乎之ヲ悟曉
覺知スル能ハサレハ也其新報同益ニ報知新ノ記不
ル所ニ於テハ英國海軍省ノ非役ノ製作者ハ將

大正十一年四月

一 新事業ニ着手セントスト云ヒ又単行獨
歩ニシテ條約改正ヲ成スノ人ト云ヘリ吾曹今
グライムズ新紙上ニ於テ見^見ルモ厭^厭フ程ニ數ニ揭
載セル所ノグロイド氏ノ書ニ就テ其ノトナリヲ
判スルニ若シ果シテ此人ニシテ生来瑕瑾アリ
トセハ其中ニ就謙遜戒慎ノ心ナキ人ト断言ス
ル可^蓋トシ^蓋ン何トナレト今ヤ氏ハ自ラ測ラヌ
毎^蓋關稅則改正ノ事ヤ外交ノ推利及務釐革
ノ事ヤ治外法權ト云ヘル蜻魅罔兩ヲ退治スル
事ノ難事ヲ処セバト欲シ且臆漸擅行以テ之ヲ
能ク^為ス^為モノトスレハ也果シテ然レハ氏ノ為
ニ卓越ナル恩顧^一公^君タル井上氏ニ在テハ氏ノ所
為大ニ満足ヲ来スヘシト虽モ一歩ヲ進メ日本

ちろ

人民ノ利害ニ就キ吾曹ノ觀察ヲ下サハ「グロイド」
氏其人ニシテ日本國ノ目的ヲ達スルニ果シテ
其撰ヲ得タリトスルヤ否之ヲ黙々ニ所スルヲ
得サル也思フニ上野氏ノ如キハ久ク英國ニ駐
在ヤルカ故ニ該國政事上ノ悉弊如何ハ瞭知シ
タル所ニシテ彼ノ印度ノ使節ヲワカブ、所為
ニカ^專 專 不正ノ道ニ浪費セリヨリ當時賄
賂公行ノ誹謗ヲ来レタルヲ例見シタルヘシ要
スルニ英國ノ譏算ニ於ケルニ唯己ヲ矜フ人
ノ代理者タルニ外ナラスレテ即チ此人ノ指揮
ニ由リ其事ノ曲直ヲ左文右吾スル事アルカ故
ニ世間亦譏院ノ審判ヲ非難スルヲ免レサルモ
ノア、今ヤ日本使節ノ内諭ニヨリ「グロイド」氏ニ

代リテ英廷ノ國是ヲ變セシメント欲シ或ハ一
動議ヲ發シテ日本ノ計ヲナサント欲スルノ
譏真アラシムルモ到底議院ノ擴充ヲ免レサレ
ヤ必セリ唯吾曹ハ日ノ新例ニ英國譏真タル
ド氏ヲ論セル所果シテ其當ヲ得タルヤ否ヲ
實サント欲ス望ラクハ其論說ノ全ク想像ニ出
ラズシテ根柢トスル所ナキトシ
思フニド氏ハ彼ノ名聲アル確辯家ニシテ
英國ノ一紳士ナルジョージトンプソン氏カ嘗
テ譏真タルノ日ニ於テ「印度地方ノ王侯」
ニ贈ヒヤラレタルヲ以テ議院ヨリ放逐セラレ
タルヲ知シタルハ「ド氏其人ノ如キ」
ハ清廉潔白ニシテ苟モ此是ノ如キ惡習ニ感添セ

ち4

ラル、トナキヤ東京「タイムズ」新紙ニ云ハル如
ク恰モ彼ノ美蘇治斯的宗徒ノ所謂己ヲ利スル
其術ノ理非ヲ看破シタルノ人ナルヲ以テ豈銅
臭ニ感添セラル、ト得ンヤ
日本記者ハ彼ノ三艦ノ製作ニ丹氏カ勲勞少ナ
カラサハ「製料」シタルカ如ク果シテ氏ヲシテ
造船術精巧ナラシメハ寧ロ其長処ヲ以テ
日本ノ造船ニ後事シテ航海貿易ノ進歩ヲ謀ル
ニ若カサルハ「蓋シ此非後ノ製作者ハ外交ノ」
政策ヲ解得シタルニ非ズ又嘗テ習察シタルニ
モ非サレ氏此人ニシテ外交政策ノ難事ヲ轉旋
ヤント欲セバ此人ヤ預テクハ「リ、パリク」
及ヒ「オノロ」イ両君ノ足下ニ坐シ謹テ其教

示ラ定クハレ此兩君ハ智識深ク見識廣クシテ
外交ニ老成熟達シ其言亦好ク行ハレ且「バルセ
ニ」及ヒ「バルボ」ニ「プラント」ト、兩君ノ政策ヲ
繼承シテ日本ニ對スル政策ノ利害得失ヲ辨明
シタルノ人ナルヲ以テ也抑モ「バルセ」及ヒ
「バルボ」ニ「プラント」ト兩氏ハ千八百六十五年以
来日本ノ外交ニ實驗ヲ經テ其關係如何ヲ明カ
シセルハナリ然リ而自ラ欺テ外交政策ノ重
任ヲ負ヒ往年日本ニ來レル外交家ハ數ブルニ
違アラズ即チ「バル」シ「ガル」キ氏「フ」ハ「オ」ル
氏等取ルニ足ラサルモノアリテ陽ニ萬國公法
ノ深蘊ヲ講究シタルカ如クナレ其皮相タル
ニ外ナラス或ハ外交策ノ得失ヲ講説スルノ日

ちか

ニ於テ此輩ノ之ヲ説クヤ聽者ヲシテ絶倒セシ
メタルヲアリキ乃チモ「シ」テ「ラ」ス「シ」テ「イ」テ「ン」ト「ロ」
ウ「ン」等ノ痴鈍漢ニ適スルノ講談ハ「妻」ハ「姉」
妹ノ赤繩談ヤ或ハ異宗門徒ノ葬式話ノ如キモ
、而已吾曹手テカ此ノ如キ愚輩ニ外交ノ事ヲ
社スルハ「シ」テ「得」ンヤ唯吾曹ノ信任ヲ置ク
ニ「シ」テ「ラ」シテ其利害ヲ計畫セシメント欲
スル而已彼ノ銳敏奇警ノ井上君ニシテ非役ノ
製作者カ外交ニ係ル政權ヲ占有セルモノト思
考セルハ吾曹ノ驚愕ニ堪ヘサル也「蓋」シ英
國議院ニ在テ頗ル尊崇信任ヲ得タルノ議員ト
庶凡外國ノ事ニ干与シテ彼是ノ間ニ媒紹シテ
獨リ外國ノ利害ヲ計畫セント欲スルハ能セサ

ル所ナリシルフオトルト英國ノ一州ノ一議員ニシテ鮮
々ノ名聲アリモ曩者日本海軍ノ為ニ備ハレタ
ルモノニシテ日大政府ノ満足ヲ得セシメント
其間ニ於テ謀ル所アラント欲スルハ是誤解ナ
ラスヤ唯此ノ如キ外交上ノ關係微リセハ即チ
議員タルノ職ニ於テ其為ス一行ハルヲ得ル
而シテ一ノ氏ノ苟量如何ヲ知ラント要セハ則
チハヨク十一年以來氏カ議員トシテ議院ニ
取議討論セル処ヲ以テ考量スヘシ即チ其苟量
ノ一オンカナルヲ量知ストヲ得ヘシト虽モ或
ハ時アリテ此量ヲ減少セシムルノ事實ナキニ
シモ非ス乃チ不幸ニシテ前年議院開場ノ際
於テ氏カ「理論ニ徴」様ノ「演説」ノ拙ナル

ちん

カ為ニ此一オンスノ量ヲ稍ニ減却セシムルニ
足ルト虽モ吾曹ハ敢テ之ヲ為スヲ欲セス又嚮
ニ氏カ尽力ニヨリ製作シタル四船ノアークヲ
スノ一英國ノ造船中ノ尤ナクモ製作以來ノ
軍艦ナリト喝采セシレシモ亦不幸ニシテ之ヲ
試験運轉ナル拙陋ナルヲ為メ世ノ窺罵ヲ来
シ更ニ亦其量ヲ減却セシムルヲアリシト虽モ
吾曹ハ敢テ此ヲ以テ亦減少スルヲ欲セサル也
幸ニ日々新聞記者ハ稍々真意ノアル所ヲ示シ
テ箴刺セルモノ如シ故ニ吾曹ハ氏ニ向テ豫
メ忠告スヘキコトアリ曰ク氏カ日本ノ計ヲナ
サントシテ露國ノ外交家ニ論議ヲ試ントスル
ニ前々勉テ善言ヲ容レ偏見ヲ捨テ沈思猛省ス

ル処アラントヲ欲ス吾曹之ヲ深信ス民ノ来遊
ヤ其長処ノ技ヲ以テ任ヘンカ為ニシテ決シテ
民カ關係スヘカニサル事件即チ吾曹ノ關係ス
ヘキ事件ニ干涉スルナカルヘシト云フ日本ニ
在留スル英人中往々愚鈍ナル英國譏負ノ暴言
ヲ放ツヲ憤怒シテ切齒ニ堪ヘスト云フモノア
リ彼ノ「リ」トシテ民ノ如キハ素ヨリ吾曹此輩ノ譏
負ト全視ス 臣民今若シ民カ條約改正ノ事
ヲ籌策セントナラシムルヲ謹慎注意其事ニ從
ハサルヘカラス何トナレハ世上民ノ東航滞在
ヲ僅ク日子ナリト信スル者アルヲ以テ動モス
レハ此輩ノ論者ヨリ民ハ意外ノ攻撃ヲ受ケ吾
曹ノ面目モ亦之カ為メ多少傷毀マラル、ノ患

アレハ也且無根ノ巷説ヨリ徒ニ世人ヲシテ各
國公使ハ魯鈍狂暴ナリトノ妄想ヲ起サシムル
而已ナラス外商ハ日本ヲ衰弱ヤシメテ己ヲ利
スルモノト思考セシメ終ニ卓見老成ノ士カ總
ニ能ハル所ノ彼ノ難題タル外交ノ事件ニ向テ
横説斜説ニ容レテ種々ノ浮説ヲナサシムルニ
至ルヲアレハ也

以上吾曹ノ論述ニ於テ「リ」トシテ人トナリト
今回民ノ来遊ノ目的如何ヲ判定スル其正論ヲ
失スルモノトセハ御用新聞ナル日ノ新聞ヨリ
翻譯シタル一篇ヲ見ルヘシ該記者ハ各國ノ榮
譽ヲ譏議シテ偏ニ民ヲ讚稱シ併テ吾曹カ尊崇
スヘキ所ノ各國公使ノ処置ヲ譏謗ヤリ此等ハ

果
レ
ヲ
皆
其
当
ヲ
得
タ
リ
ト
ス
ル
ヤ
否

ノ
漢
書

5

